(1 8 3 8)
錦之丞の元服の儀 (天保9年12月11日)

- 家慶・家定：黒書院上段（パネル3■）へ出る
 錦之丞：黒書院縁頬（パネル3■）でお目見え
 御奏者番内藤信親：錦之丞をお披露目
 家慶：「それへ」
 錦之丞：黒書院下段（パネル3■）の敷居内側の右方へ座る
 御側衆：折紙（資料4）を持ってくる→老中へ渡す
 御老中：下段の中央へ出る
 錦之丞：下段の中央（下から2畳目ほど）へ出る
 御老中：硯蓋から折紙を渡す→「御一字下さる」
 錦之丞：折紙を頂く→次の間（パネル3■）へ下がる
 御老中：次の間に列座
 御用番太田資始：「正四位下・少将に叙任せしむ」
 錦之丞：「有り難き」
 進物番：錦之丞から家慶への献上物（白銀、縮緬）を持ってくる
 御奏者番安藤信由：錦之丞から家慶への献上目録（太刀、馬）を持ってくる
 錦之丞：縁頬へ出る
 御奏者番安藤信由：献上目録の馬を披露
 家慶：「(上意)」
 錦之丞：少し進んでお礼を述べる
 御用番太田資始：「御一字ならびに官位の御礼申し上げ候」
 錦之丞：次の間へ下がる→縁頬へ出る→下段の敷居内側の右方（最前席）へ座る
 中奥御小姓小笠原長担：土器・銚子を持ってきて敷居外側から差し出す
 錦之丞：土器・銚子を少し引き寄せて上へ戴く
 家慶：土器で酒を飲む
 錦之丞：家慶が使った土器を銚子の上に載せる→下段の中央から進んで（下から2畳目ほど）家慶のお酌を受ける→土器を頂く
 家慶：「刀を」
 御老中：錦之丞に刀を渡す
 錦之丞：刀を頂く→左手で刀、右手で土器を持って次の間へ下がる→腰の小刀を拝領刀に差し替える→縁頬へ出る→お礼を述べる
 御用番太田資始：「御道具下され有り難き」
 錦之丞：次の間へ下がる→拝領刀を小刀に差し替える→縁頬へ出る
 御奏者番戸田忠温：献上目録の太刀を差し出す→敷居内側（一番前の献上物席）に置く
 御用番太田資始：「御刀指し上げ候」
 錦之丞：敷居内側（最前席）へ座る
 家慶：「(上意)」
 錦之丞：「重畳有り難き」→下がる（式次終了）
 御大老・御老中：縁頬の黒鷲杉戸際に列座
 錦之丞：大老・家老の前に座る→元服のお礼を述べる→御用番太田資始に謁する
 西丸御老中・御附御老中：縁頬の黒鷲杉戸際に列座
 錦之丞：元服のお礼を述べる→西丸御老中土井利位・御付御老中堀田正睦に謁する→御奏者番内藤信親の家臣に家斉・家定への献上物と献上目録を渡す→桧の間で御留守居年寄駒木根政暁に家斉の正室寔子・家慶の正室喬子への献上物を渡す→家慶付老女・家斉付老女・表使に贈物を渡す→下城→大老・老中・西丸老中・付老中へお礼回り